



2019年3月25日

各 位

会社名 日本ガイシ株式会社
 (登記社名 日本碍子株式会社)
 代表者名 代表取締役社長 大島 卓
 (コード番号 5333 東証・名証各第1部)
 問合せ先責任者 執行役員 財務部長 神藤 英明
 (TEL 052-872-7230)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日発表の「子会社の解散に関するお知らせ」に記載のとおり連結子会社の解散を決議したほか固定資産の減損等により2019年3月期末において特別損失が発生する見込みです。これらの特別損失計上や最近の業況変化を踏まえ、2018年10月30日に公表した2019年3月期通期の連結業績予想を修正しましたのでお知らせ致します。

記

1. 2019年3月期通期 連結業績予想の修正について

2019年3月期通期 連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	470,000	70,000	68,000	44,000	136.74
今回修正予想(B)	462,000	63,000	63,000	34,500	107.22
増減額(B-A)	△8,000	△7,000	△5,000	△9,500	—
増減率(%)	△1.7%	△10.0%	△7.4%	△21.6%	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	451,125	70,026	70,615	45,814	142.42

2. 修正の理由

売上高及び営業利益の面では、セラミックス事業において中国市場における乗用車販売減少に伴い自動車排ガス浄化用触媒担体(ハニセラム)の出荷が想定を下回っているほか、エレクトロニクス事業において中国携帯基地局の投資が停滞しセラミックパッケージの需要が低調に推移しております。また、プロセステクノロジー事業では、半導体メーカーによる設備投資の延期や在庫調整を背景に半導体製造装置用製品の需要が減少しております。こうした状況を踏まえ、全社合計の売上高、営業利益は前回予想を下回る見通しです。

これらに加えて、子会社の解散決議に伴う関係会社事業損失を見込むほか、パッケージ事業やガイシ事業の収益性の低下を反映して固定資産の減損損失を計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回予想を下回る見通しです。期末配当予想(1株当たり25円)の修正はありません。

なお、連結業績予想の前提となる期中平均為替レートは1米ドル=111円、1ユーロ=129円としております。業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上

(参考資料)

2019年3月25日
日本ガイシ株式会社

連結 セグメント情報
(セグメント間売上消去後)

(単位:億円)

	2018年3月期 実績
合計	
売上高	4,511
営業利益	700
営業利益率	16%

2019年3月期	
前回予想	今回予想
4,700	4,620
700	630
15%	14%

電力関連事業

売上高	544
営業利益	△ 47
営業利益率	-

480	480
△ 65	△ 85
-	-

セラミックス事業

売上高	2,407
営業利益	567
営業利益率	24%

2,520	2,490
565	550
22%	22%

エレクトロニクス事業

売上高	613
営業利益	9
営業利益率	1%

620	590
10	△ 5
2%	-

プロセステクノロジー事業

売上高	947
営業利益	171
営業利益率	18%

1,080	1,060
190	170
18%	16%

以上